

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点																																																	
1 孤独から要 支援者を守るための取 組み	話し相手ボ ランティア事 業	49	社協	<p>話し相手となるボランティアが独居高齢者を訪問することにより、高齢者の孤独感や不安を解消する。</p>	<p>①話し相手ボランティアの派遣 ・派遣希望者や介護事業所(ケアマネ)等からの依頼を受け、登録ボランティアを派遣 ・ボランティアが依頼者の自宅等を訪問、世間話などを一緒に楽しむ。 ・対象者の様子に気になる点があれば社協やボランティアセンターに報告</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規★</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">依頼者数</td> <td>年間</td> <td>25人</td> <td>21人</td> <td>23人</td> <td>19人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>3.31時点</td> <td>16人</td> <td>19人</td> <td>13人</td> <td>12人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>登録ボランティア数★</td> <td>85人</td> <td>92人</td> <td>79人</td> <td>70人</td> <td>42人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>実際に活動しているボランティア数</td> <td>30人</td> <td>26人</td> <td>14人</td> <td>18人</td> <td>20人</td> <td>24人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	新規★	3人	5人	4人	6人	11人	8人	依頼者数	年間	25人	21人	23人	19人	24人	3.31時点	16人	19人	13人	12人	19人	登録ボランティア数★	85人	92人	79人	70人	42人	100人	実際に活動しているボランティア数	30人	26人	14人	18人	20人	24人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値 (累計)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人 (18人)</td> <td>5人 (23人)</td> <td>5人 (28人)</td> <td>5人 (33人)</td> <td>5人 (38人)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30	5人 (18人)	5人 (23人)	5人 (28人)	5人 (33人)	5人 (38人)		<p>○新規依頼者数が目標数を上回った。 →新たに実施した通所介護事業所への周知や福祉人材バンクが行う事業所訪問と併せての周知が新規の依頼につながった。 →介護従事者の会合等での説明やボランティアセンターだよりに特集記事を掲載するなどの周知活動によって依頼者の増につなげる。</p> <p>○身内がいらない、または遠方にいるため面会者が少ない施設入所の方からの依頼や問合せが増加傾向にある。 →登録ボランティアによる活動の場の提供につながるため、施設の了解を得ながら適宜対応していく。</p> <p>○登録ボランティア数の増加 →2回の養成講座によって新たに15人の方が登録。また、活動者が少なかった合併地域においても活動者を養成することができた。 →前年度取り消された方にも継続して活動への参加を呼びかけたところ、再度活動意欲を示された。引き続き、フォローアップ研修会の充実や意見交換の場を設け、活動者の意識向上につなげる。</p>	<p>○目標は達成できていないが、ボランティア活動の対象を広げるなど、依頼者増につながる取組み、および適正なボランティア数について第3期計画に向けた研究・検討をしていただきたい。</p>	3
					項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28																																																				
					新規★	3人	5人	4人	6人	11人	8人																																																				
					依頼者数	年間	25人	21人	23人	19人	24人																																																				
						3.31時点	16人	19人	13人	12人	19人																																																				
					登録ボランティア数★	85人	92人	79人	70人	42人	100人																																																				
					実際に活動しているボランティア数	30人	26人	14人	18人	20人	24人																																																				
					目標値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30																																																					
					5人 (18人)	5人 (23人)	5人 (28人)	5人 (33人)	5人 (38人)																																																						
					<p>・依頼者数(16人⇒19人) →新規依頼者8人、派遣中止5人、合計3人増 →新規依頼は包括支援センター等のケアマネジャーによる。取消理由は入院など。 ・登録ボランティア数(42人⇒100人) 58人の増、内新規登録者は15人 →昨年度、取消された方にフォローアップ研修会の案内や講座、活動案内を行い参加を呼びかけた結果、再度登録し活動を希望する方がいた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	H26	H27	H28	H29	H30	1回	1回	1回	1回	1回	1回	<p>○登録ボランティアの活動意欲の低下を防ぐために、話し相手ボランティア以外の活動情報も提供しマッチングを行った。 →新規登録者15人中、9人が活動につながった。引き続き実施する。</p>																																												
目標値	H26	H27	H28	H29	H30																																																										
1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																										
<p>②広報・周知 ・地区民児協定例会、福推協、ふれあいサロン、食事サービスでの事業説明、チラシ配布 ・市内介護事業所(通所介護、居宅介護等)に、チラシを配布(福祉人材バンクの訪問と併せて周知) ・ボランティアセンターだよりに掲載</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (累計)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30	1回	1回	2回				<p>○今年度から養成講座受講者に修了証を発行し、登録ボランティアとしての意識付けを行った。 →引き続き実施する。</p>																																																	
実績値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30																																																										
1回	1回	2回																																																													
<p>③養成講座★ ・開催実績:①平成28年6月30日(木) 場所:大野地区公民館 参加者21人 ②平成28年11月24日(木) 場所:江迎地区公民館 参加者16人 ・内容:「ボランティア活動について」「高齢者の特性、コミュニケーションの取り方について」「おいしいコーヒーの淹れ方」(話題提供に役立つ内容として)など ・講師:佐世保市社会福祉協議会地域福祉課・在宅介護課職員 ※養成講座受講者には修了証を発行した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値 (累計)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15人 (84人)</td> <td>15人 (99人)</td> <td>15人 (114人)</td> <td>15人 (129人)</td> <td>15人 (144人)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30	15人 (84人)	15人 (99人)	15人 (114人)	15人 (129人)	15人 (144人)																																																			
目標値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30																																																										
15人 (84人)	15人 (99人)	15人 (114人)	15人 (129人)	15人 (144人)																																																											
<p>④フォローアップ研修会 ・開催実績:平成28年8月20日(土) 場所:させば市民活動交流プラザ 参加者20人 ・内容:熊本災害における救援活動と地域のつながりと話し相手ボランティアの役割 ・講師:消防局職員、社協職員</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (累計)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2人 (70人)</td> <td>11人 (42人)</td> <td>15人 (100人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30	2人 (70人)	11人 (42人)	15人 (100人)																																																					
実績値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30																																																										
2人 (70人)	11人 (42人)	15人 (100人)																																																													
<p>⑤話し相手ボランティア定例会 ・開催実績:11回/毎月第2土曜日 参加者:延べ93人 ・内容:人権擁護、子ども食堂ネットワーク活動、熱中症予防、熊本地震への支援についての情報提供、消防局見学、救急救命講習、ボランティア同士の情報交換など</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値 (累計)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15人 (84人)</td> <td>15人 (99人)</td> <td>15人 (114人)</td> <td>15人 (129人)</td> <td>15人 (144人)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30	15人 (84人)	15人 (99人)	15人 (114人)	15人 (129人)	15人 (144人)																																																			
目標値 (累計)	H26	H27	H28	H29	H30																																																										
15人 (84人)	15人 (99人)	15人 (114人)	15人 (129人)	15人 (144人)																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	達成度	H26	H27	H28	H29	H30	100%	100%	100%	100%																																																				
達成度	H26	H27	H28	H29	H30																																																										
100%	100%	100%	100%																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13%</td> <td>73%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	達成度	H26	H27	H28	H29	H30	13%	73%	100%																																																					
達成度	H26	H27	H28	H29	H30																																																										
13%	73%	100%																																																													
						達成度平均値	100%																																																								

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点																																																																																								
2 要支援者を資金的に支援するための取組み	佐世保市福祉資金貸付事業	50	社協	少額短期の資金貸付による一時的資金需要の補充や、課題解決に向けたアドバイスや他制度へのあつせんを行うことにより、困窮者の自立を支援する。	<p>・貸付実績 (単位:件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般世帯</td> <td>138</td> <td>3,605</td> <td>115</td> <td>3,370</td> <td>127</td> <td>3,328</td> <td>110</td> <td>3,148</td> <td>106</td> <td>2,550</td> <td>95</td> <td>2,091</td> </tr> <tr> <td>生保申請中の世帯</td> <td>184</td> <td>3,568</td> <td>151</td> <td>2,920</td> <td>146</td> <td>2,850</td> <td>140</td> <td>2,730</td> <td>165</td> <td>3,260</td> <td>139</td> <td>2,725</td> </tr> <tr> <td>生保受給中の世帯</td> <td>140</td> <td>3,241</td> <td>140</td> <td>3,207</td> <td>138</td> <td>3,062</td> <td>96</td> <td>2,109</td> <td>111</td> <td>2,363</td> <td>114</td> <td>2,471</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>462</td> <td>10,414</td> <td>406</td> <td>9,497</td> <td>411</td> <td>9,240</td> <td>346</td> <td>7,987</td> <td>382</td> <td>8,173</td> <td>348</td> <td>7,287</td> </tr> </tbody> </table> <p>・相談対応時に生活困窮者自立支援事業の担当者も同席し、資金の貸付だけでなく、他制度やサービスの紹介等、生活全般の助言や支援を行った(322件)。そのうち、就労に繋がったもの(6件)、課題の改善が見られたもの(13件)、生活保護の申請に繋がったもの(38件)。</p>	項目	H23		H24		H25		H26		H27		H28		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	一般世帯	138	3,605	115	3,370	127	3,328	110	3,148	106	2,550	95	2,091	生保申請中の世帯	184	3,568	151	2,920	146	2,850	140	2,730	165	3,260	139	2,725	生保受給中の世帯	140	3,241	140	3,207	138	3,062	96	2,109	111	2,363	114	2,471	合計	462	10,414	406	9,497	411	9,240	346	7,987	382	8,173	348	7,287	<p>【参考】 貸付件数</p> <p>346件</p> <p>382件</p> <p>348件</p> <p>【参考】 貸付金額</p> <p>7,987千円</p> <p>8,173千円</p> <p>7,287千円</p>					<p>○有効求人倍率は前年度よりも高く、雇用情勢の改善が見られる。貸付件数が若干減少していることの一因ではないかと考えられる。 →生活困窮者自立支援事業との連携した対応を継続し、支援を必要とする世帯に適切な支援を行い、貸付の効果を高めるよう継続的な支援を行う。また、貸付後に償還が滞る世帯の状況把握に努め、必要に応じて適切な支援につなげる。</p> <p>○対象者に直接周知するため、社協だよりやホームページを通じて広報は適当である。また、民生委員や生活困窮者自立支援事業との連携もっており、対象者への周知や継続した支援に繋がっている。 →これまでと同様の周知活動を継続する。</p>	○同様の内容での継続が適当	3												
	項目	H23		H24			H25		H26		H27		H28																																																																																									
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																																									
一般世帯	138	3,605	115	3,370	127	3,328	110	3,148	106	2,550	95	2,091																																																																																										
生保申請中の世帯	184	3,568	151	2,920	146	2,850	140	2,730	165	3,260	139	2,725																																																																																										
生保受給中の世帯	140	3,241	140	3,207	138	3,062	96	2,109	111	2,363	114	2,471																																																																																										
合計	462	10,414	406	9,497	411	9,240	346	7,987	382	8,173	348	7,287																																																																																										
長崎県生活福祉資金貸付事業	51	社協	一定期間の生活資金や特定目的の費用負担に対する貸付により、困窮者の自立を支援する。	<p>●資金貸付 ・貸付実績 (単位:件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨時特例つなぎ資金</td> <td>14</td> <td>1,400</td> <td>12</td> <td>1,130</td> <td>9</td> <td>878</td> <td>2</td> <td>200</td> <td>1</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>49</td> <td>10,403</td> <td>29</td> <td>6,201</td> <td>13</td> <td>2,842</td> <td>1</td> <td>195</td> <td>7</td> <td>1,551</td> <td>8</td> <td>1,371</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td> <td>150</td> <td>72,880</td> <td>198</td> <td>104,037</td> <td>122</td> <td>56,124</td> <td>115</td> <td>66,606</td> <td>135</td> <td>73,694</td> <td>82</td> <td>40,008</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>44</td> <td>36,790</td> <td>39</td> <td>30,961</td> <td>38</td> <td>20,656</td> <td>23</td> <td>20,611</td> <td>42</td> <td>40,757</td> <td>17</td> <td>11,013</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>257</td> <td>121,473</td> <td>278</td> <td>142,329</td> <td>182</td> <td>80,500</td> <td>141</td> <td>87,612</td> <td>185</td> <td>116,102</td> <td>107</td> <td>52,392</td> </tr> </tbody> </table> <p>・相談対応時に生活困窮者自立支援事業の担当者も同席し、資金の貸付だけでなく、他制度やサービスの紹介等、生活全般の助言や支援を行った(322件)。そのうち、就労に繋がったもの(6件)、課題の改善が見られたもの(13件)、生活保護の申請に繋がったもの(38件)。</p>	項目	H23		H24		H25		H26		H27		H28		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	臨時特例つなぎ資金	14	1,400	12	1,130	9	878	2	200	1	100	0	0	総合支援資金	49	10,403	29	6,201	13	2,842	1	195	7	1,551	8	1,371	教育支援資金	150	72,880	198	104,037	122	56,124	115	66,606	135	73,694	82	40,008	その他	44	36,790	39	30,961	38	20,656	23	20,611	42	40,757	17	11,013	合計	257	121,473	278	142,329	182	80,500	141	87,612	185	116,102	107	52,392	<p>【参考】 貸付件数</p> <p>141件</p> <p>185件</p> <p>107件</p> <p>【参考】 貸付金額</p> <p>87,612千円</p> <p>116,102千円</p> <p>52,392千円</p>					<p>○有効求人倍率は前年度よりも高く、雇用情勢の改善が見られる。総合支援資金(離職者等が対象)がほぼ横ばいであったこと、臨時特例つなぎ資金(住居のない離職者が対象)が0件であったことの一因ではないかと考えられる。</p> <p>○就学に係る、教育支援資金や技能習得費、住宅移転費の減少が大きい。目的別の貸付であり、件数から評価することは難しい。 →生活困窮者自立支援事業との連携した対応を継続し、必要に応じた貸付の実施に努めるとともに、貸付の効果を高めるよう継続的な支援を行う。</p> <p>○対象者に直接周知するため、社協だよりやホームページを通じて広報は適当である。また、民生委員や生活困窮者自立支援事業との連携もっており、対象者への周知や継続した支援に繋がっている。 →これまでと同様の周知活動を継続する。教育支援資金は、長崎県社協が、中学校・高校宛てに案内文書を送付する予定である。</p>	○同様の内容での継続が適当	3
項目	H23		H24			H25		H26		H27		H28																																																																																										
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																																										
臨時特例つなぎ資金	14	1,400	12	1,130	9	878	2	200	1	100	0	0																																																																																										
総合支援資金	49	10,403	29	6,201	13	2,842	1	195	7	1,551	8	1,371																																																																																										
教育支援資金	150	72,880	198	104,037	122	56,124	115	66,606	135	73,694	82	40,008																																																																																										
その他	44	36,790	39	30,961	38	20,656	23	20,611	42	40,757	17	11,013																																																																																										
合計	257	121,473	278	142,329	182	80,500	141	87,612	185	116,102	107	52,392																																																																																										
生活困窮者自立支援事業	55	社協	困窮者が生活保護に至る前の段階で、経済的困窮や社会的孤立から脱却できるような支援を行う。	<p>●生活困窮者自立相談支援事業 ・平成26年度の生活困窮者自立促進支援モデル事業を経て、平成27年4月施行された「生活困窮者自立支援法」に基づき市から委託された事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">受付相談件数</td> <td>408</td> <td>664</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">対応状況</td> <td>本事業による支援★ (社協の担当相談支援員による継続的な支援を行う)</td> <td>58</td> <td>87</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>他機関・制度へのつなぎ (生活保護、貸付制度、障がい福祉課などへつなぐ)</td> <td>181</td> <td>332</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>情報提供 (事業内容、制度、相談窓口などの情報提供を行う)</td> <td>169</td> <td>245</td> <td>265</td> </tr> </tbody> </table> <p>《他事業との連携による支援の一例》 ※件数は複数カウントあり ・食糧物資緊急支給事業(3件) ・住居確保給付金支給事業(8件) ・学習支援事業(4件) ・生計困難者レスキュー事業(8件) →H28.8月スタートのレスキュー事業により、ライフライン休止危機や家賃支払いにも対応が可能となり、緊急時の対応に幅広く対応可能となった。今後はよりスムーズなレスキュー事業の連携のあり方について検討が必要。 ・居場所づくり事業(8人) →参加者には心のリハビリが図られ、プログラム活動に積極的に参加する等の効果が現れている。居場所活動を通じて、自己肯定感が高まり、就労訓練事業所の見学などにつながっている。平成28年4月～平成29年3月まで計87回実施。活動内容は「くつろぎ活動」「社会参加活動(作品製作)」であった。 《支援の一例》 ※件数は複数カウントあり ・就労開始[29件]…生活保護受給者等就労促進事業による就労支援や職業訓練へのつなぎを行った。 ・住居の確保[24件]…保証人不要物件の情報提供、住居確保給付金の対応、不動産業者へ同行し、状況説明などの支援 ・生活保護へのつなぎ[32件]…病氣や障害など自立困難な要保護状態の対象者は生活福祉課への同行支援等を行い、速やかに生活保護へのつなぎ、生活の安定を図った。 ・医療機関受診開始[10件]…対象者の受診同行及び医療機関との調整等を行い、適切な医療機関への受診の促しを行った。</p>	項目		H26	H27	H28	受付相談件数		408	664	630	対応状況	本事業による支援★ (社協の担当相談支援員による継続的な支援を行う)	58	87	124	他機関・制度へのつなぎ (生活保護、貸付制度、障がい福祉課などへつなぐ)	181	332	241	情報提供 (事業内容、制度、相談窓口などの情報提供を行う)	169	245	265	<p>新規対応ケース</p> <p>目標値(累計)</p> <p>10件(10件)</p> <p>3件(13件)</p> <p>3件(16件)</p> <p>3件(19件)</p> <p>3件(22件)</p> <p>実績値(累計)</p> <p>58件(58件)</p> <p>87件(145件)</p> <p>124件(269件)</p> <p>達成度</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>					<p>○長崎県社会福祉法人経営者協議会が地域貢献事業としてH28.8月よりスタートした生計困難者レスキュー事業の活用により、緊急時の対応の幅が広がった。 ○生活保護受給者等就労促進事業との連携により就労支援も含めた支援が可能となった。 ○これまでの支援を通じて、市役所各課やハローワークから生困の情報提供がなされ、相談につながるケースが増えてきた。 →潜在的困窮把握(積極的なアウトリーチ、住民や関係機関への制度周知)とともに、関係機関からの相談・紹介がされるよう関係機関との連携強化(他機関とのケースカンファレンスや同行支援)を継続する。</p> <p>○本事業の説明やPRを積極的に行ったことで、相談者本人からの相談・問い合わせも一定数あった。 →潜在的困窮の早期把握・支援開始を目指し、周知活動を継続する。</p> <p>○就労準備段階の支援強化が必要 →「就労体験プログラム(仮)」を先進地の情報収集等を行いながら、企画していく。</p> <p>○居場所づくり活動では、平成29年度より社会参加活動としてボランティア活動を展開し、社会の一員としての意識づくりにつなげる。</p>	○同様の内容での継続が適当	5																																																																			
項目		H26	H27	H28																																																																																																		
受付相談件数		408	664	630																																																																																																		
対応状況	本事業による支援★ (社協の担当相談支援員による継続的な支援を行う)	58	87	124																																																																																																		
	他機関・制度へのつなぎ (生活保護、貸付制度、障がい福祉課などへつなぐ)	181	332	241																																																																																																		
	情報提供 (事業内容、制度、相談窓口などの情報提供を行う)	169	245	265																																																																																																		
													達成度平均値	100%																																																																																								

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容					目標・指標	実施結果の分析と今後の対策					評価コメント	評価点
					H26	H27	H28	H29	H30								
4 包括的・継続的な生活支援	生活支援に係るケースマネジメント	61	社協	自立困難、あるいは環境・精神が安定状態でない方を、多職種連携の中で地域生活に結び付けることによる、地域包括ケアシステムにおける生活支援の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●生活困窮者自立相談支援事業や日常生活自立支援事業で対応している。 ・生活困窮者自立相談支援事業：117件、日常生活自立支援事業：160件 ※内、重複4件 ・生活困窮者自立相談支援事業、日常生活自立支援事業ともに、行政や包括支援センター、医療機関などの関係機関からの相談は多く、事業の周知により対象者の把握や支援に繋がっている。 ・関係機関からの相談：282件（H27年度：257件） ・包括支援センター、事業所などの他機関とのケースカンファレンスを行い、支援内容に反映させている。 実績：784件（H27年度：716件） ・その他、実施内容は、生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業に記載のとおり 	【参考】 生困事業、日自事業による対応件数	187件 ※生困事業 58件 ※日自事業 132件 (うち、重複3件)	215件 ※生困事業 87件 ※日自事業 128件 (うち、重複3件)	277件 ※生困事業 117件 ※日自事業 160件 (うち、重複4件)			<ul style="list-style-type: none"> ○生活困窮者自立支援事業や日常生活自立支援事業において、関係機関からの相談・情報提供や、支援における連携を行っている。 →生活困窮者自立支援事業や日常生活自立支援事業等について、関係機関への周知を引き続き行う。 また、実績を積み重ねて職員のレベルアップに繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○同様の内容での継続が適当 ○地域包括ケアシステムにおける「生活支援」の充実に向け、多職種連携のさらなる推進に期待したい。 	4			
	民生委員・児童委員支援	65	社協	民生委員・児童委員の活動が円滑に行われるよう、要請に応じた支援を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員・児童委員の活動が円滑に行われるよう、要請に応じた支援を実施した。 ・民児協会長会での制度及び社協事業の説明 ・民生委員・児童委員からの個別ケースに関する相談に対応（生活困窮者自立相談支援事業 29件、日常生活自立支援事業 3件） ・生活困窮者自立相談支援事業等における継続支援の中で、民生委員と連携して対象者の見守りや状況確認等を実施。 ●各種制度の周知が進み、本人が直接相談に来るケースも増えている。 ●地域包括支援センター等の、他の相談窓口も存在する。 	【参考】 民生委員・児童委員からの相談件数 ※生困事業	38件	24件	29件			<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員から個別ケースに係る相談があり、情報提供を行ったり、同行して訪問を行うなどの対応を行っている。 →民生委員からの相談に応じた対応を行うとともに、事業の周知を図り、民生委員の信頼を得、相談をできる窓口であることの認識を広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の対策のとおりに実施された。 	3			
5 命を守る取組み	緊急時連絡カード配付事業	66	市	緊急時に適切な対応がなされるよう、緊急時連絡カードを配付する。	<ul style="list-style-type: none"> ・導入初年度に関係者へ一斉配付し、以降は必要に応じて、中央保健福祉センター1階受付、関係課窓口、本庁1階受付、各支所等へ補充 ・広報させばへの記事掲載(5月号、11月号) 	【参考】 配布枚数 ・平成23年度・・・33,530枚 ・平成24年度・・・1,810枚 ・平成25年度・・・1,860枚	1,430枚	1,590枚	1,610枚			<ul style="list-style-type: none"> ○広報させばへの記事掲載直後は配布件数が増加一週間の効果が出ている。 →引き続き効果的なPR方法、活用方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の対策のとおりに実践された。 ○あわせて、町内会役員や民生委員への周知を行うこと。 	3			
	救急医療情報キット実施事業	67	市	緊急時に駆け付け付けた救急隊員が適切な対応ができるよう、救急医療情報キットを配付する。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、中央保健福祉センター1階受付、関係課窓口、本庁1階受付、各支所等への補充 ・広報させばにて、記事の掲載(4月号、10月号) ・出前講座での使用法説明(H28.11.11 広田老人クラブ住吉会) 	【参考】 配布枚数 ・平成25年度・・・9,960袋	1,309袋	1,480袋	1,740袋			<ul style="list-style-type: none"> ○広報させばへの記事掲載等による配布件数が増加一週間の効果が出ている。 ○使い方を詳しく紹介してほしいという意見があるため、広報させばの掲載スペースを増加し使用方法等を周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の対策のとおりに実践された。 ○あわせて、町内会役員や民生委員への周知を行うこと。 	3			
※指標に関係がある取組みには★を付けています。																	
											総合評価	B	平均値 3.36				

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容					目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点																																																																										
					目標値(累計)	H26	H27	H28	H29										H30																																																																									
1 住民相互間の自主的支援活動を通じた相互扶助の実現を支える仕組み	食事サービス支援	68	社協	<p>ボランティアによる食事の提供を行うことにより、独居高齢者等の孤独解消や安否確認を行う。</p> <p>①食事サービスグループへの助成(250円/1食) ・ボランティアグループに対する、財政的な支援を実施した。(10月、3月の2回)グループへの助成(250円/1食) 《活動実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>依頼者数★(提供食数)</td> <td>15,362人</td> <td>15,360人</td> <td>14,524人</td> <td>14,582人</td> <td>14,541人</td> </tr> <tr> <td>ボランティア数★</td> <td>917人</td> <td>879人</td> <td>862人</td> <td>888人</td> <td>848人</td> </tr> <tr> <td>グループ数★</td> <td>57グループ</td> <td>59グループ</td> <td>53グループ</td> <td>55グループ</td> <td>57グループ</td> </tr> </tbody> </table> <p>・依頼者数(提供食数) 14,582人⇒14,541人 ・新規依頼者 339人、提供中止 380人 → 41人減 ・グループ数(55グループ⇒57グループ) →新規4グループ、登録抹消2グループ 合計2グループ増 抹消理由:高齢化による活動者の減少、新たな代表者のなり手がいないため。 ・登録ボランティア数(888人⇒848人) →新規登録者 86人、登録抹消 126人 合計40人の減 抹消理由:グループの廃止、高齢により活動継続が困難なため。</p> <p>②食事サービスリーダー研修 ・開催日:平成28年8月25日(木) ・内容:介護保険制度について ・講師:佐世保市社協介護事業所ケアマネジャー ・参加者数:31人 ・その他:食事サービス活動に関する情報交換会、社協事業(日常生活自立支援事業、自立相談支援事業、サロン遊具貸出等)の紹介 など</p> <p>③食事サービス料理教室 ・食事サービスグループを対象に、市内5ヶ所で実施(H29.1.30(月)～2.9(木)) ・参加者数…54人 ・内容…調理実習、社協の事業説明、情報提供(貸出用遊具、相談窓口の紹介)</p>	項目	H24	H25	H26	H27	H28	依頼者数★(提供食数)	15,362人	15,360人	14,524人	14,582人	14,541人	ボランティア数★	917人	879人	862人	888人	848人	グループ数★	57グループ	59グループ	53グループ	55グループ	57グループ	<table border="1"> <tr> <td>目標値(累計)</td> <td>300人 (15,660人)</td> <td>300人 (15,960人)</td> <td>300人 (16,260人)</td> <td>300人 (16,560人)</td> <td>300人 (16,860人)</td> </tr> <tr> <td>実績値(累計)</td> <td>218人 (14,524人)</td> <td>221人 (14,582人)</td> <td>339人 (14,541人)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>73%</td> <td>74%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標値(累計)	300人 (15,660人)	300人 (15,960人)	300人 (16,260人)	300人 (16,560人)	300人 (16,860人)	実績値(累計)	218人 (14,524人)	221人 (14,582人)	339人 (14,541人)			達成度	73%	74%	100%			<p>○平成28年度は、新規4グループ、廃止2グループとなり全体としては2グループの増 →ホームページ等による広報をきっかけに新たなグループが立ち上がり、継続して広報活動を実施する。</p> <p>○食事の提供を通じた地域のつながりづくりを目指した活動が、地域のボランティアの協力によって実施されている。</p> <p>→33地区中24地区で実施されている。未実施地区でも、サロン活動等の地域活動が実施されている。 →地域のニーズにあった活動が継続して実施されるよう支援を行う。</p> <p>○グループ廃止の主な要因である後継者の確保について、リーダー研修での情報交換や個別に相談を受け対応。 →ボランティアだけで作るのではなく、参加者も協力して料理をするなど、様々な活動形態がある。それらのごとについて情報提供や情報交換の場を設けるなどして活動の継続を支援する。</p> <p>○助成金受け渡しの際に個別面談を実施し、課題に応じて必要な支援を行った。 →特に要望が多かった助成金については見直しを行う。(H28年度:250円/食→H29年度:260円/食)</p> <p>○献立のマンネリ化を防ぐため、料理教室講師の協力を得て新たなレシピを提供 →各グループから好評を得ており、今後も継続して行う。</p>	<p>○新規依頼者数を増やすことも大切であるが、依頼者の分析をして、減少原因、課題を抽出し、他の事業との連携も含めた解決策を検討し、活動内容に反映して取り組むこと。</p> <p>○事故等で予防や対応等について、できる限りの周知を行うこと。</p>	3																																										
					項目	H24	H25	H26	H27	H28																																																																																		
					依頼者数★(提供食数)	15,362人	15,360人	14,524人	14,582人	14,541人																																																																																		
					ボランティア数★	917人	879人	862人	888人	848人																																																																																		
					グループ数★	57グループ	59グループ	53グループ	55グループ	57グループ																																																																																		
					目標値(累計)	300人 (15,660人)	300人 (15,960人)	300人 (16,260人)	300人 (16,560人)	300人 (16,860人)																																																																																		
					実績値(累計)	218人 (14,524人)	221人 (14,582人)	339人 (14,541人)																																																																																				
					達成度	73%	74%	100%																																																																																				
					<table border="1"> <tr> <td>新規依頼者数</td> <td>達成度</td> <td>73%</td> <td>74%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>料理教室実施回数</td> <td>目標値</td> <td>1回/5カ所</td> <td>1回/5カ所</td> <td>1回/5カ所</td> <td>1回/5カ所</td> <td>1回/5カ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>1回/5カ所</td> <td>1回/5カ所</td> <td>1回/5カ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規ボランティア数</td> <td>目標値(累計)</td> <td>10人 (889人)</td> <td>10人 (899人)</td> <td>10人 (909人)</td> <td>10人 (919人)</td> <td>10人 (929人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値(累計)</td> <td>69人 (862人)</td> <td>105人 (888人)</td> <td>86人 (848人)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規食事サービスグループ数</td> <td>目標値(累計)</td> <td>1グループ (60グループ)</td> <td>1グループ (61グループ)</td> <td>1グループ (62グループ)</td> <td>1グループ (63グループ)</td> <td>1グループ (64グループ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値(累計)</td> <td>0グループ (53グループ)</td> <td>2グループ (55グループ)</td> <td>4グループ (57グループ)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成度</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																新規依頼者数	達成度	73%	74%	100%			料理教室実施回数	目標値	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所		実績値	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所				達成度	100%	100%	100%			新規ボランティア数	目標値(累計)	10人 (889人)	10人 (899人)	10人 (909人)	10人 (919人)	10人 (929人)		実績値(累計)	69人 (862人)	105人 (888人)	86人 (848人)				達成度	100%	100%	100%			新規食事サービスグループ数	目標値(累計)	1グループ (60グループ)	1グループ (61グループ)	1グループ (62グループ)	1グループ (63グループ)	1グループ (64グループ)		実績値(累計)	0グループ (53グループ)	2グループ (55グループ)	4グループ (57グループ)				達成度	0%	100%	100%			達成度平均値	100%
					新規依頼者数	達成度	73%	74%	100%																																																																																			
料理教室実施回数	目標値	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所																																																																																						
	実績値	1回/5カ所	1回/5カ所	1回/5カ所																																																																																								
	達成度	100%	100%	100%																																																																																								
新規ボランティア数	目標値(累計)	10人 (889人)	10人 (899人)	10人 (909人)	10人 (919人)	10人 (929人)																																																																																						
	実績値(累計)	69人 (862人)	105人 (888人)	86人 (848人)																																																																																								
	達成度	100%	100%	100%																																																																																								
新規食事サービスグループ数	目標値(累計)	1グループ (60グループ)	1グループ (61グループ)	1グループ (62グループ)	1グループ (63グループ)	1グループ (64グループ)																																																																																						
	実績値(累計)	0グループ (53グループ)	2グループ (55グループ)	4グループ (57グループ)																																																																																								
	達成度	0%	100%	100%																																																																																								

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容							目標・指標	実施結果の分析と今後の対策					評価コメント	評価点													
					H26	H27	H28	H29	H30																							
ふれあい支援ネットワーク(仮称)の推進	69	市社協		①「ふれあいネットワーク」(災害時避難行動要支援者)の一元的データ管理に向けた調整 ・災害時避難行動要支援者支援システムの導入 ②地区福推協への活動費助成 ・各地区の福推協に対し、事務費や研修会等の経費、ネット数に応じた補助金を交付。 (ネット数実績) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ネット数</td> <td>1,079</td> <td>1,001</td> <td>1,018</td> <td>1,121</td> <td>1,070</td> <td>1,015</td> </tr> <tr> <td>構成員数</td> <td>3,419人</td> <td>2,996人</td> <td>3,200人</td> <td>3,504人</td> <td>3,449人</td> <td>3,201人</td> </tr> </tbody> </table> ※ネット数:見守り対象者人数、構成員数:見守り協力者の延べ数 ③地区情報交換会等の開催支援 ・地区福推協によるふれあいネットワーク情報交換会等開催…実績:6地区 ・内容:地域包括ケアシステムの説明、見守り活動のポイントや対応方法、介護保険制度の概要 など ④ネットワークの活動周知 ・民児協定例会・研修会、福推協総会、サロンにて事業内容の説明を行った。	項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	ネット数	1,079	1,001	1,018	1,121	1,070	1,015	構成員数	3,419人	2,996人	3,200人	3,504人	3,449人	3,201人	制度設計確定 関係者合意 様式等発注・配付 情報収集保有情報基盤整備 運用 運用 運用 運用	制度設計 制度設計システム導入決定 関係者合意 システム導入 運用開始	運用 運用	運用 運用	○災害時避難行動要支援者支援システムの導入により、各地域の対象者をデータベースで把握することが可能となる。 一見守り活動がより効果的に実施されるよう、データの活用、実施事業の検討など関係機関との連携を図る。 ○地域住民による見守り活動は地域包括ケアシステムにおける生活支援の一翼を担う活動である。一面制度による平常時の見守り活動が、効果的に実践されるよう連携を図る。	○システムを活用した「見守り」が実効性のある仕組みとなるよう、関係機関と連携し事業構築に取り組むこと。	3
					項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28																					
					ネット数	1,079	1,001	1,018	1,121	1,070	1,015																					
構成員数	3,419人	2,996人	3,200人	3,504人	3,449人	3,201人																										
2 要支援者自らの自主的・自立的活動を通じた相互扶助の実現を支える取組み	ふれあいいいきいサロン の推進	71	社協福推協	①ふれあいいいきいサロン情報交換会(研修会)★ ・開催実績… 平成28年7月29日(金) 江迎地区文化会館 参加者:32人 平成28年8月31日(水) 清水地区公民館 参加者:80人 平成28年9月30日(金) 日宇地区公民館 参加者:30人 ②ふれあいいいきいサロンの開設推進★ ・新規開設数…17カ所(平成27年度末:100カ所⇒平成28年度3月末:117カ所) ・地域包括支援センターとの連携によるサロン開設支援 ーサロン体験会の実施(8地区) ③ふれあいいいきいサロンへの支援 ・職員訪問回数…264回(レクリエーションの実施や情報提供など) ・平成27年度に作成した「サロンレクリエーション集」を随時配付 ー簡単にできるサロンメニューを掲載し提供 ・介護サービス事業所、警察署、消防署など外部講師の調整 ・希望するサロンに対し、本会所有のレクリエーション道具の貸出 ・担当職員がレクリエーション研修に参加しスキルアップを図った。 ※サロン延べ実施回数 2,377回(平成27年度:2,033回) サロン延べ参加者数 39,519人(平成27年度:34,135人)	目標値(累計) 7カ所(45カ所) 実績値(累計) 19カ所(57カ所) 達成度 100%	7カ所(52カ所) 22カ所(100カ所) 100%	7カ所(59カ所) 17カ所(117カ所) 100%	7カ所(66カ所) 1回 1回 1回	7カ所(73カ所) 1回 1回	○新たに17カ所のサロンが開設 一市が推進している「いきいき100歳体操」に取り組む団体が増加しており、体操をきっかけとしたサロンの開設が進んでいる。 一活動がマンネリ化せず継続的に実施されるよう、包括支援センターとも連携し内容充実のための支援を行う。 ○プログラムの充実を目指し、事業所(施設)や企業等が実施している出前講座のような取組について情報収集、整理を行った。 一新たなプログラムの実施につながっており、内容の充実が図られている。引き続き情報収集を行い、希望に沿った調整に努めていく。 ○さらなる活動啓発のため、本会60周年記念事業の一環として、市内のサロン対抗による競技大会を実施する。	○同様の内容での継続が適当	4																				
													達成度平均値	100%																		
地域共生サロン(地域の居場所)づくり	72	社協		①NPO法人フリースペースふきのとう「星の風」の開催支援(平成28年5月開設) ふきのとうを利用している若者が手作り品を販売する店の開設。戸尾市場の空き店舗を借用し、定期的に開催。平成29年度は民間助成金を活用し、開催頻度が多くなる予定。 ②光園地区「祇園町2組茶話やかサロン」 ・場所…祇園町2組公民館 ・開催頻度…毎週1回(木曜日) ③春日地区「桜木団地ひまわりサロン」 ・場所…桜木団地集会所 ・開催頻度…毎週1回(火曜日)	制度設計(事業実施要綱等の作成) モデル事業の実施(運営主体の募集) 実施 実施 実施	制度設計完了 モデル事業の実施(運営主体の募集) 実施	実施 実施	実施 実施	○高齢者を対象としたサロン活動を基盤に、対象者を特定しない居場所づくりが進んだ。 一世代間を超えた地域住民の交流が浸透。同方法による開設を引き続き推進する。 ○NPOによる民間助成金を活用した新たな事業展開を支援する。 ○社会福祉法人(1法人)との連携による開設に向けて、内容やスケジュールなどについて協議を実施した。 一協議結果をふまえ、平成29年度の活動開始を目指す。また、活動状況を周知するとともに、今後の展開について検討を進める。	○今後の対策のとおり実績されたい。 ○第3期計画策定に向け、サロン事業との関係性などを整理されたい。	3																					
												目標値(累計) -	2カ所(2カ所)	3カ所(5カ所)	5カ所(10カ所)	5カ所(15カ所)																
												実績値(累計) -	2カ所(2カ所)	3カ所(5カ所)																		
達成度	-	100%	100%																													
※指標に関係がある取組みには★を付けています。											総合評価	B	平均値 3.25																			

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点
1, 2 地区福祉推進協議会活動支援事業		74	社協	<p>福祉協と民生委員を中心として、各地域の福祉課題を地域自らが解決に取り組む福祉活動の体制を確立する。</p> <p>地区ごとに策定した活動計画を福祉協が実践するに当たり、市や社協が支援を行う。</p> <p>②福祉協の運営及び活動費用の助成 ・33地区の福祉協の活動支援の一環として助成 ・社協会費還元金(地区の30%)、共同募金配分金(地区の5%)</p> <p>③地区担当職員による福祉協支援 ・各地区担当職員が福祉協の定例会等に参加し、活動企画・提案、連絡調整、広報、情報提供、ニーズ把握等の活動を支援。 ・新規サロンの開設に向けたサロン体験会の実施など。</p> <p>④福祉協活動の手引き(改訂版)の作成 ・総会や研修会等で配布し、意識づけを図っていくため福祉協構成員を対象とした手引書を作成(2,000冊)。</p>	<p>①福祉協組織の活性化に向けた取り組み 《福祉協会長連絡会等》★ ・会長会の開催(1回):平成28年10月7日(金) ・会長会の開催(2回):平成29年1月11日(水)</p> <p>《福祉協ブロック別研修会》★ 地域の福祉課題の解決に向けた福祉協の役割と認識を深めるとともに、地域住民による支援活動のあり方について学んだ。 ・開催実績・・・6会場 参加者合計:617人 平成29年2月23日 (清水地区公民館 参加者:119人、山澄地区公民館 参加者:79人) 平成29年2月28日 (労働福祉センター 参加者:141人、広田地区公民館 参加者:110人) 平成29年3月3日 (相浦公会堂 参加者:132人、吉井地区公民館 参加者:36人)</p>	<p>【参考】 福祉協会長連絡会の実施回数</p>	1回	3回	2回			<p>○福祉協を通じてのいきいきサロンの推進については、研修会等を通じての啓発や職員による体験会の実施等により各地区において浸透してきている。 →H28実績(新規:17カ所、全体:117カ所)</p> <p>○福祉協が取り組むべき6項目の福祉施策の実践はまだ十分ではない。 →各地区担当職員が訪問等を通じてまとめた地域診断(福祉カルテ)を基に、福祉協役員等と各地区担当職員が課題解決に向けた協議をしながら、計画的に進めていく必要がある。 →福祉協の役員等を中心に課題解決に向けた協議を進めながら実践していく。</p>	<p>○各地区における福祉協の活動の活性化はみられるが、地域福祉の推進のためにはさらなる発展が必要。</p> <p>○福祉カルテを定期的に更新することで、支援計画の進捗を管理し、着実に今後の対策の実施に取り組むこと。</p>	2
					<p>【参考】 先進地視察研修会の実施回数</p>	1回	1回	—		<p>○懸案事項となっていた地区自治協議会と福祉協の関係性について、福祉協会長連絡会で市主管課の説明を受け協議した。 →福祉協の活動の停滞や混乱が生じない形で移行を行っていくことが大切であり、今後、地区自治協議会への合流も含めた組織や部会のあり方について検討する。 →社協としては、引き続き、社協のサテライトとして福祉協との連携や協力、支援を行っていく。</p>				
					<p>【参考】 ブロック別研修会への参加率 (参加者/総構成員)</p>	618名 /1287人 (48%)	596名 /1287人 (46%)	617名 /1287人 (48%)		<p>○作成した福祉協活動の手引き(改訂版)を福祉協総会や研修会等で配布・説明し、福祉協構成員の意識向上を図っていく。</p>				

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容					目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点	
					活動内容														
1 施設基盤整備	地域福祉の一環としての福祉活動拠点施設の整備	85	市	福祉系団体の活動支援や、人材育成・福祉教育を推進するための福祉活動拠点の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の社会参加講座 開催回数…6回 参加者数…256人 高齢者、障がい者疑似体験教室 開催回数…17回 参加者数…652人 障がい者サポーター講習会 開催回数…8回 参加者数…56人 認知症サポーター養成講座 開催回数…106回 参加者数…3,110人 障がい者地区別研修会 開催場所…広田地区公民館 入場者数…51人 ゆづらあい販売会 開催場所…五番街 来店者数…1,730人 プラザだよりの発行 発行回数…年6回 					【参考】 会議室等利用人数	8,281名	9,674名	9,591名	9,000名	9,000名	○福祉活動プラザの設置目的の大きな柱は「福祉系団体の活動支援」「人材育成」「市民の意識醸成」一開設後3年が経過し、「人材育成」「市民の意識醸成」に関する講座等のノウハウも蓄積されてきた。一方、「福祉系団体の活動支援」については、現時点で実績を上げられていない。効果的な実施手法の検討をおこなう。	○今後の対策のとおり実践されたい。	3	
	地域福祉を総合的に推進するための拠点施設の整備	86	社協	地域福祉を総合的に推進するための、市民の誰もが利用しやすい地域福祉活動の拠点施設の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●社協内部で建て替えに係る協議を行い、これまでの経過の確認と今後の検討事項について整理を行った。 					—	—	—	—	—	○引き続き、市と協議を行うなど、可能な範囲で早期の実現を目指す。	○今後の対策のとおり実践されたい。	3		
2 情報基盤整備	社会資源情報の収集整備	87	社協	本市の保健・福祉の社会資源情報を一元的に集約し、インターネット上で誰もが閲覧できる環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ●くらしに役立つ「福祉情報ガイド」の運用 ・アクセス数 平成28年度:13,441件(平成27年度:16,055件) 《掲載内容》 ①フォーマルサービス(190項目) 高齢者分野、障がい者(児)分野、子ども分野、経済的支援の相談窓口、介護保険制度、総合支援サービス、生活保護、貸付制度等の紹介 ・平成28年9月に修正、更新 ②インフォーマルサービス(126団体) NPO、市民活動団体等の情報(団体の種類、団体名、活動目的、活動内容等) ・平成28年6月に修正、更新 ○新規情報の掲載 ・フォーマルサービス 4件、インフォーマル 18団体 ○広報周知 ・社協だより100号(3月発行)に掲載 ・PR用チラシを作成 					年次計画	社会福祉協議会のホームページに掲載	情報の更新	情報の更新	情報の更新	情報の更新	○昨年度と比べ、アクセス数が減少 →平成27年度は、関係機関等に事業開始(情報掲載)の案内を行ったが、平成28年度は実施していないのが要因の一つ →より多くの市民に見てもらうため、PRチラシを関係機関や団体等に配付する。	○同様の内容での継続が適当	3	
				インターネットを活用した情報提供	システム構築、ホームページへの掲載を実施	情報開示情報の更新	情報の更新、新規情報の掲載	PRだけでなく、閲覧しやすい、また、ニーズに沿った掲載を研究し取り組むこと。											
				○新規情報の掲載 ・フォーマルサービス 4件、インフォーマル 18団体															
	災害時要援護者・平常時要支援者のデータ管理	88	市	平常時の見守りや災害時の避難支援が円滑に進められるように、要支援者情報のデータベース化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●「避難行動要支援者に係る平常時の見守り及び災害時避難支援に関する運用方針」の検討 →ふれあい援護ネットワーク(仮称)の推進事業と同様 					システム導入	実績値	制度設計	制度設計 システム導入決定 関係者合意	システム導入 運用開始	○ふれあい援護ネットワーク(仮称)の推進事業と同様	○システムを活用した「見守り」が実効性のある仕組みとなるよう、関係機関と連携し取り組むこと。	3		
	計画推進の成果の評価等	89	市社協	実質的成果の測定方法の開発、測定結果による課題抽出・再検討、次期計画の構成や活動内容に活かしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ●長崎国際大学に業務委託契約を締結し実施 ・業務内容…①地域福祉の推進に関する指標項目の調査・研究 ②地域福祉の推進に関する成果測定方法の構築(成果評価策定) ③その他、本事業に関する必要な業務 ・成果物…「佐世保市の地域福祉に係る成果評価策定業務実施報告書」 ・地域福祉の概念について ・地域福祉の評価について ・他の自治体、社協、研究者による地域福祉推進の測定方法の検討 ・地域福祉の推進測定指標の策定 ・地域福祉推進に係る調査票 ・その他…平成28年10月11日(火)、平成29年1月19日(木)に中間報告を受ける。 必要に応じて、随時打合せを行うとともに平成29年度の取組みについて協議し、計画を立てた。 					評価手法の検討と評価	年次計画	—	成果評価策定業務委託仕様書作成	成果評価策定業務委託、成果測定	ニーズ抽出、ニーズ充足手法検討	次期計画策定	○地域福祉の推進を測定する指標が完成 →平成29年度は成果物をもとにした調査を実施し、集計、分析を行う。 →ニーズ抽出、課題整理を行い次期計画策定につなげる。なお、調査分析等については引き続き長崎国際大学に業務を委託する。	○今後の対策のとおり実践されたい。	4

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容					目標・指標	実施結果の分析と今後の対策					評価コメント	評価点
					H26	H27	H28	H29	H30		H26	H27	H28	H29	H30		
4 災害時における取組み	災害ボランティアセンター	96	社協	<p>災害ボランティアセンター設置・運営訓練や災害ボランティア養成講座を通じ、災害時に適切な対応ができるよう体制の確立や防災意識の醸成を図る。</p>	<p>●災害ボランティアセンター設置運営訓練及び研修会の実施 ①佐世保市総合防災訓練における災害ボランティアセンター設置運営訓練 ・開催日：平成28年9月1日(木) ・開催場所：陸上自衛隊相浦駐屯地 ・参加者：35名(災害Vネット委員10名、登録ボランティア6名、一般4名、実習生3名、社協12名) ・内容：災害ボランティアセンターの開設、ボランティアの受付・マッチング・送り出し等の実践演習</p> <p>②災害ボランティア講演会(市民向け) ・開催日：平成29年1月17日(火) ・開催場所：アルカサSEBO イベントホール ・講演テーマ『あなたの街を守るのはアナタです』 ・講師：日本防災士会長崎県支部長 旭 芳郎 氏 ・参加者：125名</p> <p>●その他 長崎県災害ボランティア連絡会への参加(第1回) ・開催日：平成28年9月6日(火) ・開催場所：長崎県総合福祉センター 4階小会議室 ・県レベルの情報交換、共有に取り組んだ。</p>	災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施回数	目標値	1回	1回	1回	1回	1回	<p>○講演会を通して、市民への災害に対する意識啓発ができた。 一継続的な実施が必要。なお、より多くの市民の参加を得るため、周知や広報について工夫する。</p> <p>○設置運営訓練は、参加対象を一般(災害ボランティア登録者)にも広げ協力を得ることができ、また、災害ボランティアセンターの役割等について説明することで、認識を得ることもできた。 一同様の手段で継続して実施する。</p>	<p>○実際に災害が起きた時の具体的な動きについて行政と協議し、円滑な活動が行えるよう努めること。</p>	3		
						実績値	1回	1回	1回								
						達成度	100%	100%	100%								
					<p>講演会等実施回数</p>	目標値	1回	1回	1回	1回	1回						
				実績値		1回	1回	1回									
				達成度		100%	100%	100%									
												達成度平均値	100%				
	災害ボランティアネットワーク連絡協議会	97	社協	<p>災害時の円滑な支援活動のため、平常時から各種関係団体の連携体制を構築する。</p>	<p>●災害ボランティアネットワーク連絡協議会★ ・関係機関が平常時から顔の見える関係を構築することを目的に設立された16の機関・団体による協議会 [第1回連絡協議会] ・開催日：平成28年8月25日(木) ・参加者：15名 ・内容：平成27年度の事業報告、熊本地震災害支援における報告など</p> <p>[第2回連絡協議会] ・開催日：平成29年3月30日(木) ・参加者：9人 ・内容：平成29年度の事業計画(案)など</p> <p>[災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会(連絡協議会団体向け)] ・開催日：平成29年3月30日(木) ・開催場所：佐世保市社会福祉協議会 本館3階 ・研修テーマ『避難所運営(HUG)訓練』 ・講師：日本防災士会長崎県支部長 旭 芳郎 氏 ・参加者：20名</p>	定期会議実施回数	目標値	3回	3回	3回	3回	3回	<p>○連絡協議会の実施を通して、連携体制の構築を推進した。なお、計画では定期会議3回(会議：2回、避難所運営訓練1回)の予定であったが、会議と訓練を同じ日に開催したため、実績は定期会議2回となった。 一定例的な会議や訓練を継続的に実施する。 一会議だけに止まらず、講演会や訓練など関連事業を連絡協と社協が連携して実施する。</p> <p>○運営スタッフ研修会は、災害ボランティアネットワーク連絡協議会の参画団体を対象に実施し、避難所を運営する際の留意点や課題について共有する機会となった。 一避難所運営訓練だけでなく、災害図上訓練など様々な訓練を通して、日頃から災害に対する意識を高めることも必要。 一地区福推協や町内会を対象に実施することも検討する。</p>	<p>○今後の対策のとおり実践されたい。</p>	3		
			実績値	2回	3回	2回											
			達成度	67%	100%	67%											
												達成度平均値	67%				

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容					目標・指標	実施結果の分析と今後の対策					評価コメント	評価点				
					目標値	H26	H27	H28	H29		H30	実績値	達成度								
出前講座	101	市協	地域福祉分野中の重要テーマについて講演会を実施し、地域福祉への理解と関心を高める。	<p>●佐世保市まちづくり出前講座(1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:平成28年11月11日(金) ・場所:広田自治会館 ・参加者:32人 <p>●社協による講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:4回 ※ボランティア入門講座(2回・79人)、話し相手ボランティア養成講座(2回・37人)の中で、以下の内容についての講話を行った。 《内容》 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の考え方、必要性について ・福祉を取り巻く動向、統計について ・地域の実践活動(サロン、食事サービス、ネットワークなど)の紹介 ・社会福祉協議会の事業紹介 など 	講座実施回数	目標値	3回	4回	5回	5回	5回	実績値	5回	4回	5回	達成度	100%	100%	100%	<p>○適正に実施できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> →引き続き、社協による講座やサロン等の場を活用した実施を展開する。 <p>○同様の内容での継続が適当</p>	3
					講座受講者数	目標値	45人	60人	75人	75人	75人	実績値	320人	98人	148人	達成度	100%	100%	100%		
地域福祉講演会	101	社協	<p>①地域福祉講演会(市全域対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:平成29年2月2日(木) ・会場:佐世保市コミュニティセンター 5Fホール ・テーマ:『「みんなの学校」が教えてくれたこと』 ・講師:大阪市立大空小学校初代校長 木村 泰子氏 ・参加者:286名(参加者:273名、スタッフ:13名) <p>②福祉講演会(地区単位)</p> <p>《黒島地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> 《くろしま健康づくりと介護予防の島推進計画》策定記念講演会の実施 ・テーマ:「黒島でいつまでも元気に暮らすために・・・」 ・会場:黒島小学校体育館 ・講師:元長崎大学副学長 松阪 誠應氏 参加者:88人 ・開催日:平成28年10月23日(日) <p>《世知原地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:平成29年3月11日(土) ・会場:世知原支所 ・テーマ:「人生の四季～私たちの人生の春・夏・秋・冬を思う旅～」 ・講師:長崎県立大学 流通・経営学科 教授 村上 則夫氏 ・参加者:48名 	講演会の実施回数	目標値	(全域)1回 (地区)1カ所	(全域)1回 (地区)1カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	実績値	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	(全域)1回 (地区)2カ所	達成度	100%	100%	100%	<p>○地域福祉の理解と関心を高めるため、計画どおりに実施できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> →これからの地域を基盤としたふくし教育を推進する上でも関連する内容であり、参加者の関心も高まった。 <p>○テーマに応じた関係機関や団体に案内を行ったが、参加者増につながっていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> →広報や開催の方法等について、検討する必要がある。 <p>○地区単位の開催は、情報収集・情報交換の場にもなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> →同様の方法で継続する。 <p>○今後の対策のとおり実践されたい。</p>	3	
				達成度	100%	100%	100%														
5 福祉教育	階層別福祉教育	102	<p>人間の価値や尊厳を見出す福祉教育プログラムを開発し、それに基づいた階層別福祉教育を実施する。</p> <p>①モデル地区でのふくし教育推進体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 早岐、九十九、世知原のモデル3地区の福祉推進協議会において、ふくし教育の理解と事業計画の協議等、推進体制の整備を進めた。 ・福祉推進協議会構成員に対する事業へ理解促進のための会議 早岐地区福祉推進委員会 3回開催 九十九地区福祉推進委員会 2回開催 世知原地区福祉協定例会 4回開催 <p>・社会的包摂を考える学習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 早岐地区 日時:平成28年12月21日 場所:東部住民センター 参加者:11名 九十九地区 日時:平成28年11月24日 場所:九十九地区 参加者:12名 世知原地区 日時:平成29年 1月30日 場所:世知原支所 参加者:11名 <p>・ふくし教育実践指針に基づくプログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 早岐地区 日時:平成29年3月12日 場所:東部住民センター 参加者:27名 九十九地区 日時:平成29年3月8日 場所:九十九地区公民館 参加者:20名 世知原地区 日時:平成29年3月21日 場所:世知原地区公民館 参加者:25名 <p>②ふくし教育推進委員会の設置・開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市において佐世保市ふくし教育実践指針に基づく地域を基盤としたふくし教育を推進することに伴い、進捗状況や内部評価に対する助言を行うことを目的として16団体が構成するふくし教育推進委員会を設置し協議を行った。 ・ふくし教育推進委員会:第1回会議 平成28年7月6日(水) 第2回会議 平成29年2月20日(月) <p>③ふくし教育学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ふくし教育の意義や必要性について関係機関が相互理解を深めることを目的としてふくし教育学習会を開催した。 日時:平成29年2月20日(月) 場所:佐世保市労働福祉センター大会議室 参加者:188名(福推協・学校・福祉施設・ボランティア団体等) 講師:日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田正樹氏 <p>④学校等関係団体におけるふくし教育への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校等からの相談に応じ、プログラムの提案や講師の紹介等の支援を行い、児童・生徒の「共に生きる力」を育むふくし教育を推進した。 ・支援箇所 11校 ・内容・・・福祉講話、障がい者交流、車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験 	年次計画	福祉教育プログラム開発検討委員会の設置及び定期開催	階層別福祉教育プログラムの策定	プログラムの試行的実施及び検証	福祉教育プログラムの作成、本格実施、全小中高等学校及び各種団体へ配付	実施状況等追跡調査の実施	<p>○地域を基盤としたふくし教育を推進する組織として福祉協を位置づけ、その体制づくりを3地区において実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> →ふくし教育への理解は得られつつあるが、それを主体的に実施していくためには一定の期間がかかる。 →プログラムの実施が目的化してしまうとふくし教育の視点を失うため、実践により何を学んだかやどう変わったかという成果を求めめる必要がある。 →モデル地区の実践を基本に、今年度は15地区で推進する。 <p>○ふくし教育の成果をどのように評価するか、先進事例を参考にし、関係機関で構成する「ふくし教育推進委員会」で検討を進める。</p> <p>○学校におけるふくし教育は、プログラムの提案や社協職員の講話、他機関講師の調整等の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> →単発ではなく継続的な関わりが増えている。 →これまでの疑似体験中心の学習から、障がい当事者の講話や福祉のまちづくりへ広がるプログラムの実施等、新しい取り組みを行うことができた。引き続き、学校や学校外の社会資源と連携し、より効果的な学習を支援する。 	達成度	100%									
				実績値	策定委員会の設置・開催	策定委員会の開催	推進委員会の設置・開催			佐世保市ふくし教育実践指針の策定	モデル地区での実践及び検証										○同様の内容での継続が適当

■平成28年度 第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 取組み評価一覧表(案)

取組項目	事業名	ページ	実施主体	事業の目的	平成28年度の主な活動内容	目標・指標	H26	H27	H28	H29	H30	実施結果の分析と今後の対策	評価コメント	評価点	
5 福祉教育	地域における人材育成	103	社協	各地域で研修会等を開催し、地域福祉を推進するための人材を育成する。	地域福祉を推進するための人材育成に関する取り組みを以下の事業の中で実施した。 ①生活支援体制整備モデル事業 中里皆瀬地区において、地域の支え合い活動を実践するボランティアの養成に取り組んだ。 ○支え合いづくり養成講座の開催 ・開催日：平成29年3月19日(日)、3月26日(日) ・場所：中里皆瀬地区公民館 ・参加者数：45人 ○生活支援サービスに係る実態調査の実施(中里町下公民館管内) ・調査期間：平成29年1月7日(土)～1月24日(火) ・地域内の支え合い活動に参加できると回答した人：20人 ②ふくし教育推進モデル事業 モデル地区(早岐、九十九、世知原)の福祉推進協議会と連携し、地域を基盤としたふくし教育を推進するための基盤づくり、人材育成に取り組んだ。 ○社会的包摂を考える学習会を開催 ・社協職員が寸劇を行い、参加者には排除する人とされる人、またその中間に立つ人の気持ちについて考え、話し合ってもらった。(参加者：34人(3地区計))	【参考】 関連事業における人材育成の推進	—	—	生活支援体制整備事業、ふくし教育推進事業における人材育成の推進				○地域の支え合い活動への参加意欲を持ったボランティアの養成(発掘)ができた。 →H29年度は、ごみ出しや買い物などの生活支援に関するボランティア活動の実践に向け具体的な話し合いを行い、活動を開始する。 ○ふくし教育推進事業のモデル地区で福祉協構成員を対象とした社会的包摂について考える勉強会を実施。 →排除する人、される人の気持ちを考える機会となり、またその中間に立つ人の役割について理解が深まった。 →福祉協構成員に加え、新たに対象を広げて実施する。	○今後の対策のとおり実績されたい。	3
※指標に関係がある取組みには★を付けています。												総合評価	B	平均値 3.13	